

## HOT NEWS

### 地域ネット

#### 府中ネット

わくわくまちづくりトーク  
5月15日(日) 14:00～ ルミエール府中第2会議室(府中駅) 給食センター、再開発、マイナンバーなど、議会報告と意見交換  
TEL042-360-4443

#### 品川ネット

品川上空300mを低空飛行する?! 羽田増便計画!学習会  
5月16日(月) 18:30～ きゅりあん5階第2講習室(大井町駅) 講師:秀島一生(航空評論家) 主催:品川区議会超党派議員有志  
TEL 03-5751-7105

#### 練馬ネット

市民の社会科見学「練馬清掃工場に行こう!」  
5月18日(水) 10:00～ 9:50練馬清掃工場正門前集合(時間厳守)(練馬区谷原6-10-11) TEL03-3993-4899

#### 文京ネット

大河原まさこさんとなんでも話そう!  
5月20日(金) 11:00～ 文京シビックセンター3階障害者会館会議室A(春日駅)  
TEL03-4283-3430

#### 武蔵野ネット

映画「首相官邸の前で」&小熊英二氏トーク  
5月25日(水) 18:30～ 武蔵野スイングホール(武蔵境駅) 前売り1000円、当日1200円(高校生以下、障がい者無料) 主催:むさしの憲法市民フォーラム TEL0422-36-3767

#### 福生ネット

なんで どんどん暮らしにくくなるの!～今の政治の問題点～  
5月29日(日) 10:00～ 福生市民会館第3集会室(牛浜駅) ゲスト:大河原まさこ  
TEL042-553-0701

#### 練馬ネット

『遺伝子組み換えルーレット』上映会&天笠啓祐さんの特別講演  
5月31日(火) 13:45～ 石神井公園区民交流センター展示室兼集会室(石神井公園駅)  
対談:天笠啓祐×大河原まさこ 500円  
主催:練馬地域協議会 TEL03-3993-4899

#### 府中ネット

わくわくサロン  
6月11日(土) 14:00～ 府中・生活者ネットワーク事務所(府中駅) 空き家と地域の居場所をテーマに、福祉について話し合います  
TEL042-360-4443

## 生活者ネットワーク3つのルール

### 1 議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

### 2 議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

### 3 選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。



沖縄県恩納村で4月3～4日開催された、自治体議員立憲ネットワーク研修。集会宣言を参加者全員で採択した

## 自治体議員立憲ネットワーク研修 in 沖縄2016から 辺野古に新基地はいらない!

「立憲主義と平和主義」を掲げ、全国で600人以上の超党派の自治体議員で組織されている自治体議員立憲ネットワーク(共同代表に西崎光子東京・生活者ネットワーク都議会議員ら)の研修が4月3、4日沖縄県恩納村で開かれ、全国から多数の議員らが参加。安倍政権による民意の圧殺、地方自治の破壊を許さない決意と行動を約す場となった。

東京・生活者ネットワーク代表委員 水谷 泉

安倍政権の暴走は、もはや地方自治を破壊するに至っており、私たちは断じて許すことができない。

自治体議員立憲ネットワーク研修 in 沖縄には、110人以上(沖縄県内45人、県外69人)の議員らが参加した。初日は翁長雄志沖縄県知事、浅井春夫立教大学教授の講演が、翌日は稲嶺進名護市長の講演の後、辺野古のゲート前で座り込みを続ける県民・団体と合流、新基地建設断固反対!の思いを共有した。

### 今ならまだ引き返せる 沖縄を平和の緩衝地に

翁長知事は、「日常」と「非

日常」は紙一重、今ならまだ引き返せる、と発言。日本の国土面積の0.6%に在日米軍基地の約74%を持たれている沖縄が、今後は「基地」から「平和の緩衝地」となるべきだとも。



▲辺野古ゲート前の座り込み行動。毎日、おおぜいの参加で継続している  
▼翁長雄志沖縄県知事を囲んで

しばしば「沖縄の発展は基地のおかげ」と言われるがこれは全くの誤解で、今や基地関連収入は沖縄の全GDPの5%に過ぎない、観光収入が伸びている昨今、もはや基地は完全に迷惑施設になっている。そもそも普天間飛行場は、戦後ようやく生き残った人々が強制収容されている間に土地を接収されてつくられた。サンフランシスコ講和条約によって、沖縄など南西諸島が米国の信託統治領となり、1972年に返還されるまで日本の憲法が適用されなかった歴史がある、と続けた。

浅井教授からは、沖縄の子どもの貧困率が全国の2倍以上であることについて、沖縄戦と米軍統治下に置かれた影響が非常に大きく、「戦争は最大の非福祉」であり、沖縄が率先して貧困対策の条例を制定し、全国にアピールすべきと語られた。

稲嶺市長によると、計画されている辺野古の新基地は、単に現在の普天間基地の機能が移転するのではなく、多数のヘリパッドや弾薬庫、軍港などを備える、さながら要塞のようであること、ジュゴンやサンゴなど貴重な自然の破壊につながる

米国は、海兵隊のグアム移転など再編の方向であるにもかかわらず、新基地の建設を進めているのはまぎれもない日本の現政権である。言うまでもなく、基地問題は単に沖縄だけの問題ではない、ひとり一人が自分のこととして向き合うべくある問題だ。2日間の沖縄現地研修を経て自治体議員立憲ネットワークは、「安倍政権による民意の圧殺、地方自治の破壊を断じて許さない」声明を発表した。



浦添市の児童センターで毎週土曜日に開かれている子ども食堂(昨年5月開設:無料)。この日は30人近くの子が来訪。子どもたちが中心になって調理、大きな子が小さい子に教えている。「調理を覚えれば生きる力になる」代表談

生活者ネットワークは都内35の自治体にあり、それぞれの地域課題に取り組みと同時に、市や区を超えた東京問題・国政問題には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。